

下水道問題

問 第三者委員会の立ち上げの予定は

答 必要に応じ、専門家を交えて設置



篠崎 久美子 議員

【下水道受益者負担金問題について】

問 時効問題の原因と行政の責任は。

村長 下水道受益者負担金の徴収体制の不備と納入管理不足が原因で、過去の下水道区域の拡大が住民合意の上で推進されたのが問題と考えます。賦課業務、徴収業務に対する組織体制の不備、徴収指示が不十分であったと思われる、問題発生の原因は行政にあると思います。

問 庁内での事実検証と、第三者委員会の立ち上げの考えは。

村長 過去の事務手続きの検証は、担当課長を中心に実施し、過去の担当者への聞き取りは、副村長、担当課長で実施しました。第三者委員会は、監査委員会等の調査結果を踏まえ、必要に応じ専門家を含めて立ち上げます。

問 時効負担金を収入未済額として計上してきた決算書については。

村長 不納欠損処理せずにきたことは、はなはだ遺憾で、法に対する認識の甘さがあったことが原因とされています。

問 【観光への取り組みについて】

村長 今冬のスキー伝来100周年への村としての取り組み、今後の観光の方針は。

村長 「白馬スキーの日」の制定や「100年宣言」、記念バッジの製作をします。

問 今後は、冬の魅力を生かした観光、広域連携の促進、観光資源の発掘、長期滞在型観光、新しいタイプの観光をめざします。



森林（もり）の里親促進事業（岩岳） 10月24日

問 観光局の移転、組織改編については。

村長 組織改編も含めて今年度中に結論を出したいです。

問 「庄屋まるはち」の運営は。

村長 指定管理契約が終了する来春以降に向け、10月から一般公募を開始し、12月議会の議決を経るよう指定

管理者を選定する予定です。

【森林活用・林業施策について】

問 間伐状況や、林業の現状は。

村長 間伐面積は民有人工林の3分の1までです。村では各種補助を実施しています。林業再生のため大北林業創生協議会が8月に設立され、地域材の安定供給、木質バイオマスの事業化への取り組みが予定されています。

問 県が推進する県産材の利用促進方針の策定は。

村長 白馬村公共建築物・公共土木工事等における木材利用促進方針（案）を作成中です。

問 【福祉施設計画について】

村長 岳の湯に計画する福祉施設の概要は。

問 現時点では、定員15名の通所介護施設で、村社協を指定管理者と計画しています。補助金の関係もあり、改修工事終了後の平成25年のできるだけ早い時期の開設としたいです。

村長

問